

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		評価		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価	
1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	1 利用者の気持ちにそった施設運営	若い世代の利用者の促進	□出展者の1/3以上が25歳以下の利用者は半額でギャラリー利用ができるU25プランを実施	2団体	<p>【成果】</p> <p>定期的な自主事業や優先利用及び定期優先利用の団体を募るなど、施設の周知徹底と利用促進を図ることができた。昨年度に引き続き、コロナ禍が続いたことにより、一部目標達成に至らなかった取り組みもあったが、コロナ禍の改善の兆しが伺える中、利用者拡大の為事業の充実や更なる市民への施設周知徹底を図り、地域への文化的貢献度をあげる活動に一層取り組みたい。</p> <p>【課題】</p> <p>本年度はまだまだコロナ禍の影響が色濃く、施設利用率も十分に回復できたとは言い難い。SNSなどを活用した施設周知やPR、同時に昨今行うことが難しかった新規のアウトリーチ事業を通じて、PR活動を工夫する。</p> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響下でありつつも、オンライン配信やホームページなどの告知をし、利用者に寄り添った取組をしたことを評価します。 ・利用者が現地を見て体験する形式のワークショップを複数回実施し、地域と連携した事業も確認することができます。利用者が活動するためのきっかけづくりになる企画を立案、実行した取組について評価できます。 ・施設紹介動画を作成し、利用者への案内やはじめて利用したい方へ各々の部屋の用途や設備など丁寧な案内をしていることが確認できます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや施設を周知することについては、SNSが適しています。どのような周知をするかを企画・検討し、日常的に発信できるように取り組めることを期待しております。 ・継続的に開催できている事業の中には、参加者数や参加団体数が目標に届かなかった事業がありました。新型コロナウイルス感染症の影響であると思いますが、引き続き需要を掘り起こしていくことを望みます。 	
		定期的な利用者の継続を促進	□定期的に利用する団体・個人に優先枠を適用するウェルカム・プラザ制度を実施	30団体		
		施設の本番利用を応援	■ホールの本番利用者へのリハーサル割引期間を28日以内に期間を拡大する。	実施		
	2 施設の周知と利用団体の紹介	市民への施設周知	□施設紹介動画の作成、公開	実施		
			利用者の把握と貢献	□地域の親子を対象に施設見学会「たんけんツアー」の実施		1回
			利用者拡大への新規事業	■地域で活動する団体と市民プラザの利用者をつなぐ「来て見て市民プラザ(仮)」を実施する。		実施
			施設の特徴のPR	□朝からグランドピアノ		参加者120人
	2 文化芸術活動への参加の機会を提供する(使命2)	1 多様な糸口をもったあいの事業の開催	地域交流やであいの場を提供	□手作り作品を販売する「アートアンドクラフト・マーケット2022」		2回 出展者80人
幅広い年齢層への利用促進			□親子で鑑賞「わくわくコンサート/体験ワークショップ」	1回		
			□クリスマスコンサート	1回		
2 アウトリーチ事業の実施		オンラインでのイベント開催	□プラザ発・お届けイベント	1回		
			学校とアートをつなぐプログラムの提供	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム	5校	
			地域との連携や協働事業の展開	□まるごとみなみ施設間連携事業	1回	
			横浜芸術アクション事業への参加	□「横浜音楽祭」関連事業	1回	
3 文化芸術の体験講座の実施		映像講座と利用者コンテンツ配信の提供	□市民プラザチャンネル	1回 参加者10人		
			市民とともに創り上げる、創作ワークショップと発表機会の提供	□ギターワークショップ	1回 参加者30人	
				□写真撮影講座	1回 参加者20人	

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

3 次世代を担う人材を育む (使命3)	1 子どもや親子が文化芸術体験の芽を育めるような事業の開催		<input type="checkbox"/> キッズアート講座	1回	<p>【成果】 次世代育成事業や社会的包摂を意識した事業や事業協力などを近年より継続して取り組むことができ、実績を重ねている。若い世代の利用者の拡大、若手芸術家への支援については、コロナ禍が落ち着いてきた段階で新しい企画を立案し、市民と交流していく。</p> <p>【課題】 次世代育成については、今後も例年開催していく継続事業での市民参加や、新しい育成事業の企画立案など継続して行っていきたい。コロナ禍により、外出等の制限など文化事業も強い影響を受けたが、市民プラザの役割として今後の文化事業、地域連携事業について積極的に市民とつながり、評価いただけるよう企画立案していく。</p> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代や子育て世代をターゲットとした事業を多く実施したことが確認できます。また、次世代へ向けた文化・芸術体験の経験プログラムや障害のある人、障害のない人がともに活動できる事業については文化芸術を経験できる貴重な事業であると評価できます。 ・若手の文化芸術活動世代を支援するために「家族特別券」などの割引制度を取り入れ、芸術家を支援しつつ、来館者もチケットを手にしやすい工夫をしていることが確認できます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も幅広い活動をさまざまなターゲットに向けて企画・立案し、地域に密着した取組ができることを期待しております。 ・周辺高校である横濱青陵高校と講座での繋がりができました。今後、周辺高校と連携しての講座の実施やギャラリーの利用に繋がることを期待しております。 	
			<input type="checkbox"/> 吉野町アート空間	1回		
	2 子どもたちの芸術活動の機会の創出		<input type="checkbox"/> 横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム	(再掲)		
	3 若い世代の文化芸術活動の応援	若い世代の利用者の促進と拡大		■中高生の文化芸術体験機会を広げるため、新たにチケットのジュニア割引を実施する。		実施
				■小中学生に向けた事業のウェルカムジュニア「施設のお試し体験」「お仕事体験」を実施する。		実施
		子どもたちへの支援と地域連携の実施		■地域の学校と連携し、若い世代が舞台に立つ機会の提供や連携した地域活動を実施する。		実施
				<input type="checkbox"/> 若手落語会		1回
	4 市民の力を引き出すための、市民とともに企画した事業の実施		<input type="checkbox"/> 参加型ライブイベント「吉野町音楽空間」	1回		
			<input type="checkbox"/> 子どもの演奏やダンスの発表「水辺の光コンサート」	1回		
	5 文化団体や文化活動をする人の活動への協力	文化団体や文化活動をする人の活動への協力	ギャラリーホワイエの活用と利用促進	<input type="checkbox"/> 「わたしのギャラリー」への出展		30点
ソーシャルインクルージョンと地域連携の促進			<input type="checkbox"/> 「あしおとでつながろう！」プロジェクト	2回		
			<input type="checkbox"/> 「チャリティサンタ」プロジェクト	2日間		

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける (使命4)	1	市民が行う文化芸術活動を通じた街づくり活動の支援と協働	■大岡川アートプロジェクト「光のふるむなあと」に参画し多様なネットワークを構築する。	実施	<p>【成果】 大岡川アートプロジェクト実行委員会や睦町地域ケアプラザなど地域連携とイベント協力など、例年どおりに実施できた。例年実施しているサービスに加えて、提案書記載の新しい取り組みについては議論を開始して来期実施に向けて、現実的なプランを計画し、地上波やSNS発信等広報、広告についても同時に行い、地域のにぎわい創出につなげて、市民とのつながり強化の為にイベント参画や地域連携事業等を来期に向けて準備をした。</p> <p>【課題】 地域の人材育成については、市民プラザのみならず全市の課題となっている。市民プラザと関係ホールを含めた3館連携事業を企画開催しながら、3館連携だけではなく、地域との連携や団体との連携も行い、更に市内の区民文化センターとのネットワークも活用し全市の文化的な地域連携事業の提案を行っている。単館のみの発信に留まらず、スケールメリットを活用した広報も行いながら、施設間連携強化を目指す。</p> <p>【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症影響下でありつつも、感染症対策をしつつ、各イベントを実施できたことが確認できます。 ・南区内の関係施設と協力してアウトリーチ事業を複数回実施されたことを評価できます。今後も関係施設と継続した関係を取りつつ、さまざまな事業に取り組めるようにしてください。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されことに伴い、イベントやワークショップなどが実施しやすくなりました。一方で、イベント当日に体調不良となり欠席なることが他施設でも確認されるため、人数の割り当てなどで工夫等しながら取り組んでください。</p>	
	2	市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識される運営の実行	□南区の夏祭りなどに来店し、大岡川アートプロジェクト実行委員会と協働して、子どもを対象にした制作ワークショップを実施	1回		
	3	近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワークの構築連携事業の実施	異なる領域の市民利用施設による施設間連携ネットワークへの参画	■地域の施設間連携ネットワークに参加し、地域センター、ケアプラザ、スポーツセンター、図書館などと継続した関係を構築する。		実施
			LC(ローカルコミュニティ)プランの実施	■既存の地域コミュニティが団体利用をする場合は、30%の割引となる「LCプラン」を適用する。		実施
	4	事業プロモーション活動を通じた地域への人の呼び込みと地域のにぎわいの創出	■tvkの番組「猫のひたいほどワイド」で、市民プラザの事業を告知する。	実施		
			■市民プラザや地域の魅力をSNSで発信する。	実施		
			■情報コーナーを館内に設置し、地域情報を提供する。	実施		
	5	市民プラザが「みんなの広場」となるような取組の実施	□インクルーシブワークショップ(3館連携)	計画・準備		
			■ギャラリーホワイエをギャラリー利用者の交流スペースやオープンなイベントの開催に活用する。	実施		
	6	「市民プラザ未来開発プロジェクト」の実施	文化芸術の力による地域コミュニティの再生	■継続開催が難しくなっている「光のふるむなあと」の再興を目標としたまちづくり運動を繰り広げる。		実施
実演芸術配信・アーカイブ構築(3館連携)			■配信可能なコンテンツや無観客ライブ配信などをアーカイブとして構築し、専用サイトで配信する。	実施		
次世代人材の育成			■施設の利用を激変させる世代交代に対応できる地域の人材を育成する。	実施		

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		評価		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価	
1	利用者意見の収集と対応(使命1-(2))	<p>■すべての自主事業で利用者へのアンケート等を実施し、業務改善につなげる。</p>	実施	<p>【成果】 自主事業の参加者からいただいたアンケートについては、概ね高い評価をいただいた。当館にいただいたアンケートの意見を確認しながら、来期にむけてスタッフ一同の共通認識として対応する。</p> <p>【課題】 アンケート結果をみると、年齢層の高い利用者がやはり多い。もう少し幅広い年齢層をターゲットに、自主事業の集客も工夫を図る。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通じて大きなトラブルもなく施設運営ができたことが確認できます。 ・施設で定期的な広報を実施し、地域メディアとも連携しながら発信することができました。 <p>【更なる取組を期待する点】</p>	
2	1 必要人材の配置と職能	<p>■施設の管理運営は必要な職能を有する人材を配置する。</p>	実施	<p>【成果】 一年を通して、施設運営管理面で大きな問題もなく、また利用者から大きな苦情もなく施設運営をした。日々利用希望や問い合わせが増えてきているなかで、依然としてコロナ禍の影響を強く受けており、コロナ禍前の従来どおりの運営はできず自主事業の実施回数などおさえる必要があった。一方で、公演後に利用者から喜びの声をお聞きする等以前と同じように鑑賞したいという希望が感じとられ、今後冷静に状況をおさえながら、従来と同様若しくは新しい自主事業を企画し、自主事業開催につなげていきたい。</p> <p>【課題】 施設運営の基本を守りながら、地域との連携について、新たにつないでいく作業が必要とされる。コロナ禍明けを見据えながら、従来どおりの企画だけではなく、新規自主事業を計画し、開催について調整する。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症影響下で思うように事業が実施できない中、自主事業を実施し利用者からも前向きなお声をいただけたことが確認できます。今後もアンケート結果を分析しながら、どのような事業が求められているか、集客方法についてを工夫しながら取り組んでください。</p>	
		<p>申し送りの手法の確保</p>	<p>■情報をすべての職員で共有するため、グループウェア、Eメール、引き継ぎノート、回覧、掲示板などを活用する。</p>			実施
	2 情報の共有	円滑な管理運営のための各種会議の実施	<input type="checkbox"/> 朝礼(出勤スタッフ全員)			毎日
			<input type="checkbox"/> 職員会議(スタッフ全員)			月1回
			<input type="checkbox"/> モニタリング会議(両プラザ副館長)			月1回
			<input type="checkbox"/> 運営会議(共同事業体各社代表)			四半期に1回
			<input type="checkbox"/> プラザ連絡会議(両プラザ館長・副館長参加)			四半期に1回
			<p>■必要に応じて企画検討会(館長・副館長・企画コミュニティ担当)を実施する。</p>			随時
			<p>■必要に応じて一体プロジェクト推進会議(館長・副館長・担当者・プロジェクト統括マネージャー)を実施する。</p>			随時
			<p>■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する。</p>			実施
3 主要人材の能力担保に向けた基礎研修の実施	<input type="checkbox"/> 接遇マナー研修	1回				
	<input type="checkbox"/> 人権研修	1回				
	<input type="checkbox"/> バリアフリー研修	1回				
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護法研修	1回				
	<input type="checkbox"/> コンプライアンス研修	1回				
	<input type="checkbox"/> 防災訓練	2回				
	<input type="checkbox"/>					

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

		<input type="checkbox"/> 危機管理研修 <input type="checkbox"/> 救急救命講習 <input type="checkbox"/> 機材研修 <input type="checkbox"/> 受付業務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて新規採用者・新規配属者研修を実施する。	1回 1回 1回 2回 随時		
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式25)	1 市内に拠点を置くメディアを代表する企業とする強みを活かした広報・プロモーションに対する取り組み	<input type="checkbox"/> tvk番組内での告知情報の発信	5回	【成果】 定期的な地上波での告知、タウン誌での告知、WebやSNS発信での告知等メディアを活用し、広報宣伝に取り組むことができた。また、2館連携事業も新たな取り組みをしながら、来期に向けて3館連携事業など協議はじめた。 【課題】 今期以上に、地域連携について活動を行い、ノウハウを生かして地元貢献に取り組む。	
		<input checked="" type="checkbox"/> タウンニュースなどの地域メディアと連携した情報発信を行う。	実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> ホームページやSNSを活用した自主事業などの情報発信を行う。	実施		
	2 関内ホールとの3館連携	<input checked="" type="checkbox"/> 岩間市民プラザ、関内ホールと連携し横浜全体で楽しむ事業を展開する	実施		
		3 コミュニティ形成への寄与	<input checked="" type="checkbox"/> 地域で災害が発生した際に、施設2階はボランティア拠点として提供する。		実施
			<input checked="" type="checkbox"/> 災害時は学童保育へ施設の一部を提供する。		実施
4 その他施設運営に関する事項	1 休館日の届け出	<input checked="" type="checkbox"/> 休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。	実施	【成果】 必要のある申請、届出について対応した。要請があれば都度対応していく。 【課題】 人員の配置変えや新規スタッフの配置がある場合に、業務に滞りがないよう引継ぎに注意して業務にあたる。	
	2 目的外使用料の申請	<input checked="" type="checkbox"/> 自動販売機、携帯中継アンテナ等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。	実施		
	3 財務状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務状況について確認できる書類を提出する。	実施		

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		評価		
III 施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価	
1 保守管理業務(使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	設備保守管理業務	■日常巡回で設備点検、清掃等、環境に配慮した清潔で安全・安心な施設管理を行う。	実施	【成果】 定期的な設備保守点検、備品及び機材の点検など欠かさず実施した。 【課題】 開館から34年が経過し、経年劣化による設備劣化や不具合が頻発している。都度横浜市へ報告、相談しながら安全性の確保や施設の快適性の確保を継続してサービスを充実させていく。	【評価できる点】 ・日頃から清掃点検や建物に付随する設備等などの日頃のメンテナンスを実施し、維持管理していることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・直近で、地震などの天災が年々増加しています。地域で想定される事案(道路陥没や浸水被害など)について、詳細にマニュアルを整備することで初期対応を複数人で行うことが可能となりますので、確認してみてください。また、地域との活動のなかで周辺状況が詳しい方もいるはずですので、確認してみることもおすすめします。
			■法定点検・日常点検・定期点検を行い備品の状況を把握し、良好な状態を保つ。	実施		
			■感染症対策を実施し、利用者が快適に利用できるよう、施設を清潔に保つ。	実施		
		備品等の適切な管理	■中長期的な修繕計画を立て、施設・設備・備品等の長寿命化に努める。	実施		
			■不具合対応は優先的順位をつけながら、横浜市と協議の上修繕を行う。	実施		
			■効率的で安定的な施設運営を図る。	実施		
2 環境維持管理業務(使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	日常清掃・定期清掃	■「指定管理者業務の基準」及び「同別添資料」に記載された環境維持管理業務を、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持する。	実施	【成果】 日常清掃による清潔さの維持、ごみ分別による環境への配慮など意識的に業務を行うことができた。 【課題】 吉野町市民プラザは、建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)の対象物件ではないが、環境に配慮した取り組みを日々行うことで、利用者からの評価が高まるよう運営する。	
			廃棄物処理及び環境への配慮	■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生を抑制する。		実施
		空気環境測定	□定期的に空気環境測定を実施する。	隔月		
3 保安警備業務(使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	リスクを想定し、対処方法や対応体制を定めるリスクマネジメントの徹底	■開館中は施設内巡回、監視カメラで常に状況を把握し、異常が疑われる際には職員が現場確認して関係機関に通報する。	実施	【成果】 日常の警備体制について、南警察署の警備課と連携、相談しながら不測の事態が発生したときの迅速な対応をしていくことができるよう、確認した。 【課題】 室場の利用者だけではなく、共有スペースを利用する目的の来場者も数多くいる。他の利用者へのマナーにも気を配れるよう、利用状況については常に監視して、異常を確認次第即対応する。	
			■最終退館から出勤までは機械警備で監視し、異常時は警備員が急行する体制を整える。	実施		
4 防火・防災等(使命5・様式14)	2 地域の安心拠点としての行政や警察との連携	リスクを想定し、対処方法や対応体制を定めるリスクマネジメントの徹底	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動する。	実施	【成果】 南消防署を連携して、防災、救命などスタッフへの指導丁寧に取り組んだ。 【課題】 消防訓練については、毎年確認すべき事態を整理して行っているが、水再生センターとの協力や、地域に開かれる災害拠点などシミュレーションだけでなく、日頃のコミュニケーションを心掛ける。	
			□消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成	実施		
			□統括防火管理者を選任し、全館合同で防災訓練を実施	防災訓練 2回		
			□防災計画等の情報共有のため、併合施設と定期的に管理者連絡会を開催	2回		
5 緊急時の対応(使命5・様式14)	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	リスクを想定し、対処方法や対応体制を定めるリスクマネジメントの徹底	□危機管理マニュアルを作成し、自衛消防隊を設置するとともに、AEDの操作訓練を含む消火訓練などを実施	消火訓練 1回	【成果】 災害ボランティア拠点として、訓練を行うことができた。地元区社協とも協力して、実際に使用するソフトを使用して訓練を行った。 【課題】 訓練を行ったが、非常事態の際に、普段接点の少ないスタッフ同士がどこまで連携できるかを確認作業を積み重ねていく必要がある。	
			■地域で災害が発生した際に、施設2階はボランティア拠点として提供する。	(再掲)		
			■災害時は学童保育へ施設の一部を提供する。	(再掲)		
			■大規模災害に備え、保存食など災害備蓄品を常備し、適切に維持管理する。	実施		

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

6 感染症等衛生管理(使命5)	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	新型コロナウイルス等の感染症対策	■日常清掃や施設利用時、点検時にアルコール等を用いた除菌を行う。	実施	【成果】 室場利用後の消毒、換気作業など欠かさず実施した。消毒作業については、日常の作業として継続して実施した。 【課題】 ガイドラインも変更されていくなか、現場として実際に消毒作業をどこまで行うか等、スタッフと相談しながら効率よく作業を行い、更に安全に行っていく。
7 その他施設管理に関する事項	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置		□電気主任技術者(第3種)	配置	【成果】 電気設備のトラブルなどなく、維持管理業務を行った。 【課題】 資格保有者は常駐ではない為、スタッフの日頃の施設内点検を丁寧に行う。

評価項目		令和4年度計画		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価

IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価
1 利用率の目標設定(様式22-C)	利用率の目標	□ホール、ギャラリー、会議室、スタジオA、スタジオB・Cにおいて令和4年度の利用率の目標を設定	ホール 93% ギャラリー 55% 会議室 50% スタジオA 60% スタジオB・C(2部屋) 70%	【成果】 ホール利用など、音楽の楽器演奏については、一定の利用があり利用率へ増加にもつながった。 【課題】 近隣施設のフォーラム南太田がリニューアルオープンされたこともあり、利用者を分け合うことでギャラリーなど利用率の目標を達成できない要因があった。新規利用を増やすことができるよう地域連携など新たな企画に取り組む。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症影響下でありつつも、自主事業増加させ、利用者の声に沿った事業を中心に実施したことが確認できます。 ・補助金を獲得したことにより、新たな自主事業を実施したなど積極的な企画及び事業へ取り組んだことが評価できます。 【更なる取組を期待する点】
2 指定管理料のみに依存しない収入構造(様式23)	1 収支の安定に向けた取組	■新たな利用者獲得のための広報宣伝を実施し、利用者拡大に取り組む。	実施	【成果】 コロナ禍でも、自主事業を前年より増やすなど、利用者の気持ちに沿って運営を行った。 【課題】 安定した収支については、エネルギー価格の高騰もあり収益確保について難しい運営となっている。	・エネルギー価格や物価高騰の影響等により、令和4年度についてはコストアップがあり厳しい状況がありました。次期指定期間でも引き続き、施設でのコスト削減に向けた取組みや利用者へのご案内などを工夫し、適切な収支バランスを保つことを期待します。 ・適切な収支構造の維持に向けては、収入面では利用料金収入や自主事業による事業収入の確保がベースとなりますが、引き続き助成金や協賛金の獲得に向けた取組も進めてください。
		■施設全体の利用率の1%向上を目指し、市民芸術文化団体、施設、企業、学校などと連携する。	実施		
	■事業別収支計画を立案し、結果分析を行うことで集客に役立て、利用収入を安定させる。	実施			
	2 収入増への取組(使命5)	■館内撮影希望者に対して新たな撮影料金の設定することで利用収入向上を目指す。	実施	【成果】 補助金獲得により、新たな自主事業や2館連携事業を行った。 【課題】 収支改善についてはエネルギー価格の高騰の為難しい環境ではあるが、自助努力で収入増を目指し、でき得る対策をとっていく。	
■利用促進のためホール、ギャラリーを直前まで受付ける。特に、利用率の低いギャラリーについて、3か月を切った場合、展示以外の目的での利用申込みも受けを行い、ギャラリー使用を可能な限り緩和し、利用率1%向上を図る。		実施			
■地域の商店街や文化事業、企業等とタイアップに取り組む、助成金の獲得収入など指定管理料以外の収入を得る。		実施			
3 経費削減等効率的運営の努力(様式23)	効率的な施設運営に向けた取組	■自動販売機の設置、チケット受託販売、DVD録音サービス、コピーサービス、ごみ処理サービスを行い収入を確保する。	実施	【成果】 市民プラザ同士や、関内ホールからスタッフや機材の派遣など協力しながらコスト削減に努め、自主事業を継続して行っている。 【課題】 コスト削減について日々意識して運営を行っている。人材の派遣など他館とも連携しながら事業を行っているが、エネルギー価格の高騰により収支バランスをとることが難しい状況となっている。	
		■事業企画は費用対効果を考え、年間収支の中でバランスを取る。規模の大きなイベントでは共同事業体の専門技術を活かし、事業費を抑える。	実施		
		■電力調達は共同事業体が管理している公共施設と合同で入札を行い、スケールメリットによりコストを抑える。事務用品は再利用をおこない廃棄物削減を推進する。	実施		
		■効率的な運用による事務費・管理費の縮減に加え、クールビズやウォームビズの推進など、職員の意識を高めて経費削減を徹底する。	実施		
		■特定の職員に業務が集中しないように管理し、職員それぞれが担当業務のほかに貸館・受付業務を行い、効率的な組織体制をつくり、超過勤務時間を抑制する。	実施		
■毎月の試算表により執行管理を行い、期中の仮決算で収支予測を立て、修正予算を作成することで収支のバランスを取る。	実施				

令和4年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	
各種計画書・報告書の作成	1	日報、月報の作成・管理	<input type="checkbox"/> 業務日報の作成 <input type="checkbox"/> 管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングで報告	実施 実施	【成果】 業務日報、月報など日々欠かさずに取り組み保管している。報告書についても同様に組みを行っている。 【課題】 事業後の分析については報告書を作成して保管しているが、これからの課題についてはこれまでよりも視野を広げて、分析今後の企画立案に生かす。	
	2	事業計画書・事業報告書の作成・管理	<input type="checkbox"/> 事業計画書・事業報告書の作成 <input type="checkbox"/> 事業計画に沿って成果が見える報告書の作成	実施 実施		
	3	業務評価の実施	<input type="checkbox"/> 自己評価	実施		
評価項目			令和4年度計画		評価	
VI その他		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	自己評価	行政評価
1 市の重要政策への対応 (様式26)	1	個人情報保護についての取組	■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。 ■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備する。	実施 実施	【成果】 個人情報の取り扱い等研修実施について繰り返し行っている。環境への配慮、社会的包摂の意識的運営について取り組むことができている。 【課題】 今般の社会的包摂や次世代育成については喫緊の課題であり、文化施設としてもその役割を果たす為に、新たな企画を立案していく。地域と連携しながら、もう一度役割について整理、検討し、地元貢献を行っていく。	【評価できる点】 ・個人情報の取り扱いについて、研修を実施し、職員で各々が個注意し、法令遵守するように取り組んでいることが確認できます。 ・関係施設と連携しワークショップを実施したり、他事業についても検討しを実施できるよう、継続的に取り組んでいることが確認できます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、今後更にイベントを楽しみ盛り上げることができる企画ができることを期待しております。 【更なる取組を期待する点】 ・個人情報の取り扱いについて、常にダブルチェック、トリプルチェック等で実施し確実に間違いがないことを複数で確認できるような体制にしてください。別の施設では、メールの送付方法や宛先の確認不足で個人情報が流出しているケースがあります。
	2	情報公開についての対応	■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「横浜市民プラザ情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等に対して適切に対応する。	実施		
	3	人権尊重についての取組	<input type="checkbox"/> 人権研修を実施し、職員一人一人が人権尊重を実践するよう取り組む。	1回		
	4	環境への配慮について	■施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。 ■施設から発生する廃棄物の排出量削減に努めるとともに、廃棄する際は資源再生できるよう分別処理をする。	実施 実施		
	5	障がい者に対する差別解消について	■バリアフリーの観点を運営に取り入れて、利用しやすい施設となることを目指す。	実施		
	6	男女共同参画についての対応	■ジェンダーフリーの観点を運営に取り入れて、利用しやすい施設となることを目指す。	実施		
	7	市内中小企業優先発注について	■「横浜市内中小企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等に当たって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。	実施		
2 その他	1	保険及び損害賠償の取扱い	■「指定管理者業務の基準 別添資料」に基づき施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。	実施	【成果】 継続して2館連携や番組内での告知などリソースを生かしながら運営した。 【課題】 自主事業だけでなく、広告や運営でも2館連携を強化しながら、エリアとして3館連携を行うことで新たな利用者獲得を目指し、リソースを更に活用して成果をあげていくことを目指す。	
	2	関係法令等の遵守	■現行の関係法令を遵守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する。	実施		
	3	市及び関係機関等との連絡調整	■事故や不具合時は即日報告とし、随時共有する。	実施		
	4	2つの市民プラザを一体で運営し、さらに関内ホールも含めた3館連携、またその先の連携を目指す	■2館連携、3館連携事業の自主事業の企画・実施 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に実施 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携する。	実施 実施 実施		

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を継続して行い、室場の換気、手に触れる箇所の消毒を実行し利用者の安全確保に努めた。ギター講座では当日イベントに参加できない方の為に動画収録したものを映像の限定配信を行った。また施設紹介やアクセスをわかりやすく視聴できるように動画収録した映像をHPで公開を行い、施設の周知と利用者に親切的な施設運営を目指し実行した。コロナ禍ではあったものの、コロナ以前の事業(ゴスペルコンサートやアート&クラフトマーケット)を一部再開し、ゴスペルコンサートでは親子参加も可能としたことで若い世代にも観覧いただき、来場者に喜んでいただける結果となった。地域の屋外映画会の技術協力やクリスマスイベントの施設貸出など地域協力やアウトリーチ事業を実行し、地域のにぎわいの創出や市民活動の支援を行った。</p> <p>【課題】 他の文化施設との連携事業や、若手育成事業についてはまだまだコロナ禍の影響が強いなかで実施することが難しい時期であった。(施設の利用促進も同じ)また収支についてはエネルギー価格の高騰をうけ、収支バランスについて影響があり、収益確保に課題が残った。また施設設立から30年以上が経過し、正面入口屋根の漏水や空調設備機器の不具合など修繕対応や維持メンテナンス費用は増加傾向にあり、利用者や運営スタッフの快適な利用空間を維持する上でのコスト増加が引き続き来年度も見込まれる状況となっている。</p>	<p>【評価できる点】 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響下でありつつも、利用者へ向けた感染症対策を実施し、自主事業に取り組んだことが確認できました。利用実績についても、徐々に戻りつつあり地域との連携をしながら様々な事業に取り組んだ姿勢を評価することができます。様々なイベントを再開し、内容によっては動画配信をし、創意工夫しながら取り組んだ結果であることが確認できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルス感染症影響下で、実施ができなかった事業については、来年度以降に実施ができるよう検討してください。 また、施設に必要な光熱費が高騰し、収支バランスが取りづらいたと思いますが、日常的に工夫できる点や利用者にも対応をお願いできることを施設内で検討しつつ取り組んでいけるようにしてください。</p>